

【 アドベンチャートラベル・ワールドサミットについて 】

令和3年9月8日（水）食と観光対策特別委員会

（一） ATWS への立候補の表明時期について

ATWS は、知事が公約として掲げ、アジアで初めて誘致に成功したアドベンチャートラベルに関する世界最大のイベントであり、地域からの期待が高いものです。

今回は、ウィズコロナ社会の新たな形としてバーチャルでの開催となり、そのための準備を進めてこられたと承知していますが、このような中、今なぜ最速で2023年の再誘致に向け立候補を表明するに至ったのか、立候補に至る経緯について伺います。

（答弁：アドベンチャートラベル担当課長 興水昌明）

- ・ATWS は地域の期待が極めて高いイベント、それだけに、今回のサミットがバーチャル開催となって世界中の方々をお招きできなかったことは、大変残念なことであり、全道の関係者の皆様から、同様の声を多数いただいていた。
- ・この為、ATWS2021 の成功に向け、道内の機運を高めるとともに、参加企業等がリアルに開催を見据えたアピールを可能とするため、今般、ATWS の再招致に向けて立候補

を表明することに至った。

(二) ATWS の再誘致の効果について

今回の ATWS はバーチャル開催となり、世界中に北海道の魅力を発信する良い機会であるとは思いますが、世界のアドベンチャートラベルの適地であるかを吟味することができるリアル開催には及ばない面もあるかと考えます。

仮に ATWS を再誘致し、リアルでの開催が実現できた場合、バーチャル開催とどのような違いがあるのか、どのような効果が期待されると考えているのか伺います。

(答弁：アドベンチャートラベル担当局長 中島竜雄)

- ・ ATWS で最も重要なのは、アドベンチャートラベルに対応した魅力的なツアーを商品として、全世界からの参加者にご紹介すること。
- ・今回は、バーチャル開催のため、北海道のアドベンチャートラベルのコース等を映像により全世界に発信。
- ・リアル開催が実現した際には、海外の関係者に北海道に来ていただき、直にツアーを体験して、その素晴らしさを体感してもらえることを期待。

(三) 今後の取組について

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、本道観光を立て直すためには、少人数での体験型観光であるアドベンチャートラベルが北海道を代表する観光の一つとして定着するよう振興を図ることが重要と考えます。

道は、この度の ATWS の再招致に向けた立候補を踏まえ、今後どのようにアドベンチャートラベルの振興に取り組んでいこうと考えているのか、伺います。

(答弁：観光振興監)

- ・質の高い体験型観光であるアドベンチャートラベルは、ウィズコロナ時代において、今後、本道観光の主要な柱の一つとなるもの。
- ・ATWS の再招致に向けて立候補を表明したことは、本道観光の発展にとって重要なことと認識。
- ・道としては、アドベンチャートラベルが北海道を代表するツーリズムの一つとなるよう、高い顧客ニーズに応えられるコンテンツづくりや魅力あるコースの設定に加え、アドベンチャートラベルに対応したガイドを育成するなど、官民一体となって取り組んでまいりたい考え。

- ・まずは、ATWS2021の成功に向け全力を尽くすとともに、
最速で2023年にATWSを再招致するべく、実行委員会
の皆様とともに取り組んでまいります。